



写真:シカのフンを運ぶオオセンチコガネ (撮影:平成21年9月25日)

「オオセンチコガネ」

えびの高原では、宝石のように美しい体をした甲虫に出会えます。フンコロガシの仲間です。

朝夕がめっきり涼しくなり、花が秋の訪れを教えてください。えびの高原では、オスジカの姿を見かける時期になりました。えびの高原には、シカをはじめ多くの野生動物が生息しています。

この動物たちの『フン』が大好きな生きものをご存知でしょうか。昆虫の中には、動物のフンを食べて生きているものがあります。代表的なものは、ファーブル昆虫記にも書かれているフンコロガシです。

えびの高原ではよく、赤い光沢のある甲虫に出会えます。実はこれがフンコロガシの仲間です。名前はオオセンチコガネ。トイレを意味する「雪隠」からその名が付いています。シカやアナグマなどのフンにやってきて、運んだり、もぐり込んで食べたりしています。

オオセンチコガネはフンを食べて一生を過ごしますが、まるで宝石のように美しい体をしています。地域によって体色に変化があり、屋久島には、るり色をしたヤクシマルリセンチコガネがいます。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

オオセンチコガネ コウチュウ目センチコガネ科
Geotrupes auratus auratus